



慶應義塾大学出版会

新刊案内

2024

9月

〒108-8346 東京都港区三田 2-19-30

Tel: 03-3451-6926 / Fax: 03-3451-3124

<http://www.keio-up.co.jp/>



平積印のついている本には特にご注目下さい。平積みいただければ幸いです。



文化人類学



宗教学

リアル・メイキング

いかにして「神」は現実となるのか

ターニャ・M・ラーマン (スタンフォード大学人類学部教授) [著] /

柳澤田実 (関西学院大学 神学部准教授) [訳]

ココに注目!

- ・「信仰」はどのようにして成立するかを認知科学的に考察した研究書。
- ・目に見えない存在を崇拝する心理の背景にある、信仰の本質を明らかにする。

神など信仰の対象になる、目に見えない存在は、信者にとっていかにして「リアル」になるのか。そのメカニズムを福音派をはじめとする宗派へのフィールドワークをもとに文化人類学的に考察する。

税込予価 **3,300 円** 四六判並製 / 320 頁

ISBN 978-4-7664-2977-0 C0036

対象: 宗教の信者の心理に興味がある読者 / 「推し活」等の心理に興味がある読者

部数: ★★★★★

配本予定: 9 月上旬



類書 ロビン・ダンバー『宗教の起源』(白揚社)

関連既刊

『宗教の経済学 信仰は経済を発展させるのか』

ロバート・J・バロー、レイチェル・M・マックリアリー 著 / 田中健彦 訳 / 大垣昌夫 解説
定価 **2,970 円** 四六判上製 / 264 頁 ISBN978-4-7664-2683-0 2021 年 3 月

【営業部からのおすすめコメント】

11 月の大統領選に向けた報道が加熱しています。各候補者の支持基盤に、特定の宗教宗派が存在することは大統領選の特徴ですが、今回トランプ候補の支持を公言しているのがキリスト教「福音派」と呼ばれる一派です。彼 / 彼女らの中には、実際に神の声をきく信者もいるといい、本書の著者も、その境地を科学的見地から追体験することで、信仰の本質を明らかにします。次回 10 月号では、本書の刊行記念フェアをご案内予定です。こちらどうぞご期待下さい! (吉川)

※本書は、2024 年 8 月号にて、9 月イチ押し新刊としてご案内を差し上げております。注文が重複した場合には「多い方の発注数」にて対応させていただきます。

部数は、★で約 500 部を表します。



アメリカ

混迷のアメリカを読みとく10の論点



西山隆行 (成蹊大学法学部教授)・前嶋和弘 (上智大学総合グローバル学部教授)・
渡辺将人 (慶應義塾大学総合政策学部准教授) [著]

🔍 ココに注目!

- ・トランプ政権以降、経済的にもイデオロギー的にも分断が進むアメリカ。
その問題点はどこにあるのか?
- ・アメリカ政治研究の第一人者が、今後のアメリカを読み解くうえでの重要論点を紹介する。

2024 年秋に大統領選挙を迎えるアメリカ。しかしトランプ政権以降、経済的にもイデオロギー的にも分断が進み、政党や世代間の対立が激化している。大国アメリカは、今後どこに向かうのか。第一人者の視点から現在のアメリカが国内外で抱える問題点を 10 の論点から読みとくとき、その全体像と今後のゆくえを浮き彫りにする。

税込予価 **2,200 円** 四六判並製 / 256 頁

ISBN 978-4-7664-2986-2 C0031

対象：大統領選をはじめ、アメリカが抱える問題点を理解したいと考える一般読者や学生

部数：★★★★★

配本予定：9 月下旬

📖 類書 西山隆行「格差と分断のアメリカ」(東京堂出版)

関連既刊

『陰謀論はなぜ生まれるのか Qアノンとソーシャルメディア』

マイク・ロスチャイルド著 / 烏谷昌幸・昇亜美子訳

定価 **2,970 円** 四六判並製 / 378 頁 ISBN978-4-7664-2936-7 2024 年 1 月

【主要目次】

序論 アメリカ政治の現在地

第 1 部 アメリカを悩ませる 10 の問題

- 第 1 章 アメリカはいったい誰のものか?——アメリカにおけるアイデンティティ政治
- 第 2 章 なぜ人々は政府を信用しないのか?
- 第 3 章 なぜアメリカ政治は分極化しているのか?
- 第 4 章 今でもやはり「経済が重要!」なのか?
- 第 5 章 中絶と同性婚がアメリカを揺るがす?
- 第 6 章 世代論の罫
- 第 7 章 選挙戦はどう戦われるのか?
- 第 8 章 貿易政策と労働者をめぐる「外交の内政化」
- 第 9 章 アメリカが築き上げてきた国際秩序
- 第 10 章 岐路に立つリーダーとしてのアメリカ

第 2 部 アメリカはどこに向かうのか? (鼎談)

【営業部からのおすすめコメント】

トランプ氏が演説中に銃撃され、バイデン氏が大統領選から撤退するなど、多くの波瀾要因を抱えるアメリカ。混迷をきわめるアメリカ情勢を紐解くべく、本書では『アメリカ政治』『キャンセルカルチャー』の前嶋和弘氏、『格差と分断のアメリカ政治』の西山隆行氏、『アメリカ映画の文化副読本』の渡辺将人氏といったアメリカ政治研究の第一人者が結集し、10 のテーマから現状をわかりやすく整理しました。また、10 月には著者陣の選書によるフェアも企画中ですので、ぜひご期待ください!

(福本)



または



マテリアル・ガールズ



フェミニズムにとって現実はなぜ重要か

キャスリン・ストック (元セックス大学教授) [著] / 中里見博 (大阪電気通信大学共通教育機構人間科学教育研究センター教授) [訳] / 千田有紀 (武蔵大学社会学部教授) [解説]

ココに注目!

- ・「ジェンダーアイデンティティ (性自認)」とは何かを説明する。
- ・学術的知見に基づき、「ジェンダーアイデンティティ理論」が抱える課題にも真摯に向き合う。
- ・多種多様化する概念を、哲学的観点から紐解き、加熱する議論を整理する。

多様な「性」を尊重する社会づくりが世界中で進み、生活環境、公共施設、法律などが整備されつつある。その一方で、複雑化した「ジェンダー概念」への理解が追いつかず、社会的混乱を来している。本書では、生物学的性別よりもジェンダーを優先する、いわゆる「ジェンダーアイデンティティ理論」が生まれた思想的背景を説明し、生物学的性別の重要性と課題点を提示することを通して、「誰もが生きやすい社会」の実現に向けた現実的な解決を試みる。

税込予価 **3,960 円** 四六判上製 / 384 頁

ISBN 978-4-7664-2987-9 C0036

対象：フェミニズムに興味がある女性読者 /
社会学・哲学・特にフェミニズムに興味のある読者

部数：★★★★★

配本予定：9 月中旬

● 類書 キャロライン・クリアド＝ベレス「存在しない女たち」
(河出書房新社)

関連既刊

『美とミソジニー 美容行為の政治学』

シーラ・ジェフリーズ 著 / GC ジャパン翻訳グループ 訳

定価 **3,520 円** 四六判上製 / 368 頁 ISBN978-4-7664-2817-9 2022 年 7 月



十四億人の安寧

デジタル国家中国の社会保障戦略

片山ゆき (ニッセイ基礎研究所保険研究部准主任研究員) [著]

ココに注目!

- ・この数年、デジタル技術の急進展とともに格段の進化を遂げた中国の保険市場。
- ・その実態を把握するとともに、社会保障制度と民間保険が中国の人民の「安寧」にどう貢献しているのかを丁寧に解説する。

中国では少子高齢化とともに、国がデジタル化を積極的に推進している。社会保障制度を支える民間保険・保障分野も同様に進化が進み、フィンテック、インシュアテックといった分野において、日夜新たなスキームが次々と誕生している。本書ではプラットフォームによる金融事業、その中でも潜在成長性の高い保険分野とデジタルテクノロジーの融合についてその利点と課題を整理し、今後の成長可能性について解説する。

税込予価 **3,300 円** 四六判上製 / 346 頁

ISBN 978-4-7664-2984-8 C3033

対象：中国とビジネスを行っている企業、インシュアテック (デジタル含む) 市場の行方を探る金融保険行政関係担当官庁や IT 系企業関係者

部数：★★★★★

配本予定：9 月中旬

● 類書 沈潔・澤田ゆかり編「ボスト改革期の中国社会保障はどうなるのか」(ミネルヴァ書房)

関連既刊

『「ネオ・チャイナリスク」研究 ヘゲモニーなき世界の支配構造』

柯隆著 定価 **2,640 円** 四六判上製 / 352 頁 ISBN978-4-7664-2747-9 2021 年 5 月

『中国現地法人の労務管理 Q&A』

尹秀鍾著 定価 **3,300 円** A5 判並製 / 304 頁 ISBN978-4-7664-2521-5 2018 年 5 月

部数の★は、1 つで約 500 部を表します。



または



現代日本の金融システム

平積み

パフォーマンス評価と展望

内田浩史 (神戸大学大学院経営学研究科教授) [著]

ココに注目！

- ・1990年代以降、長期停滞に陥った日本経済。その間の金融政策は何が機能し、何が足りなかったのかを明らかにする。
- ・経済学の道具立てを総動員して過去半世紀の軌跡を検証する。

バブル期 (1980年代) から2024年のマイナス金利解除までの半世紀近い日本の経済・金融環境を概観し、金融システムの機能と効果を丹念に解説する。理論と実証の両面を兼ね備えつつ、解説書レベルの平易な解説を行う渾身の力作。『金融 新版』(有斐閣)の格好の併走書。

税込予価 **3,850 円** 四六判上製 / 484 頁
ISBN 978-4-7664-2983-1 C3033

対象：90年代以降の金融政策を概観したいと考える金融関係者、金融初学者

部数：★★★★★

配本予定：9月中旬

 内田浩史『金融 新版』(有斐閣)



または



マクロ金融危機入門

平積み

なぜバブルは繰り返すのか

マーカス・K・ブルネルマイヤー (プリンストン大学教授)、

リカルド・レイス (ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス (LSE) 教授) [著] /

栗林寛幸、小谷野俊夫 [訳] / 青木浩介 (東京大学大学院経済学研究科教授) [解説]

ココに注目！

- ・「金融危機」についての最新の知見を第一線の研究者が解説。
- ・コンパクトな表現で、最新の理論と実例を紹介。

2008年の世界金融危機以降、その原因についての研究が膨大に蓄積され、来るべき危機に備えた政策が検討された。しかし大学の経済学コースではそうした危機についての全体像を学ぶ機会が実は少ない。本書では10の経済危機モデルと、それに該当する2つの事例を各章で平易に解説。学生・ビジネスパーソンともに役立つ1冊。

税込予価 **2,750 円** 四六判並製 / 192 頁
ISBN 978-4-7664-2988-6 C3033

対象：金融危機について歴史・理論・政策に関心のある読者

部数：★★★★★

配本予定：9月中旬

 スリエル・ルーベニ『MEGATHREATS』(日本経済新聞出版社)